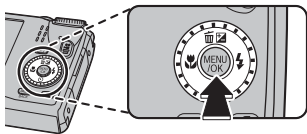


## 顔キレイナビを使った撮影

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを表示させ、

**顔キレイナビ**を **ON** にします ( 91 )。



緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

縦位置撮影時も顔を検出できます。

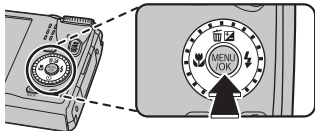
- ① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

## 撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

### 撮影メニューの使い方

- 1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。





- 2 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
変更した内容に設定されます。
- 4 **DISP/BACK** ボタンを押します。  
撮影画面に戻ります。

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

### 撮影メニュー一覧

 **EXR** モード (工場出荷時: )

モードダイヤルが **EXR** のとき、にシーンに合った **EXR** モードを設定できます (頁29)。

 **Adv.** モード (工場出荷時: )

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます (頁31)。

 シーン選択 (工場出荷時: )

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます (頁35)。



 **ISO** 感度 (工場出荷時: **AUTO**)

光に対する感度を変更できます (頁88)。

 **連写** (工場出荷時：OFF)

動いている被写体などを連続して撮影できます (図49)。

**F550EXR 設定：**  /  /  /  /  / OFF

**F500EXR 設定：**  /  / OFF

 **インテリジェントブレ防止 (F550EXR のみ)** (工場出荷時：OFF)

**ON** にすると、プレミアム **EXR** オート時にインテリジェントブレ防止が有効になります (図24)。




**設定：** ON/OFF

 **顔キレイナビ**

顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます (図48)。

 **測光** (工場出荷時：)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

設定	説明
 <b>マルチ</b>	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。
 <b>スポット</b>	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
 <b>アベレージ</b>	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

◆  **顔キレイナビが ON** のときは設定できません。